



アジア/世界エネルギーアウトルック 2011

-不透明さを増す国際エネルギー情勢とアジアの将来-



コメント資料

2011年10月26日

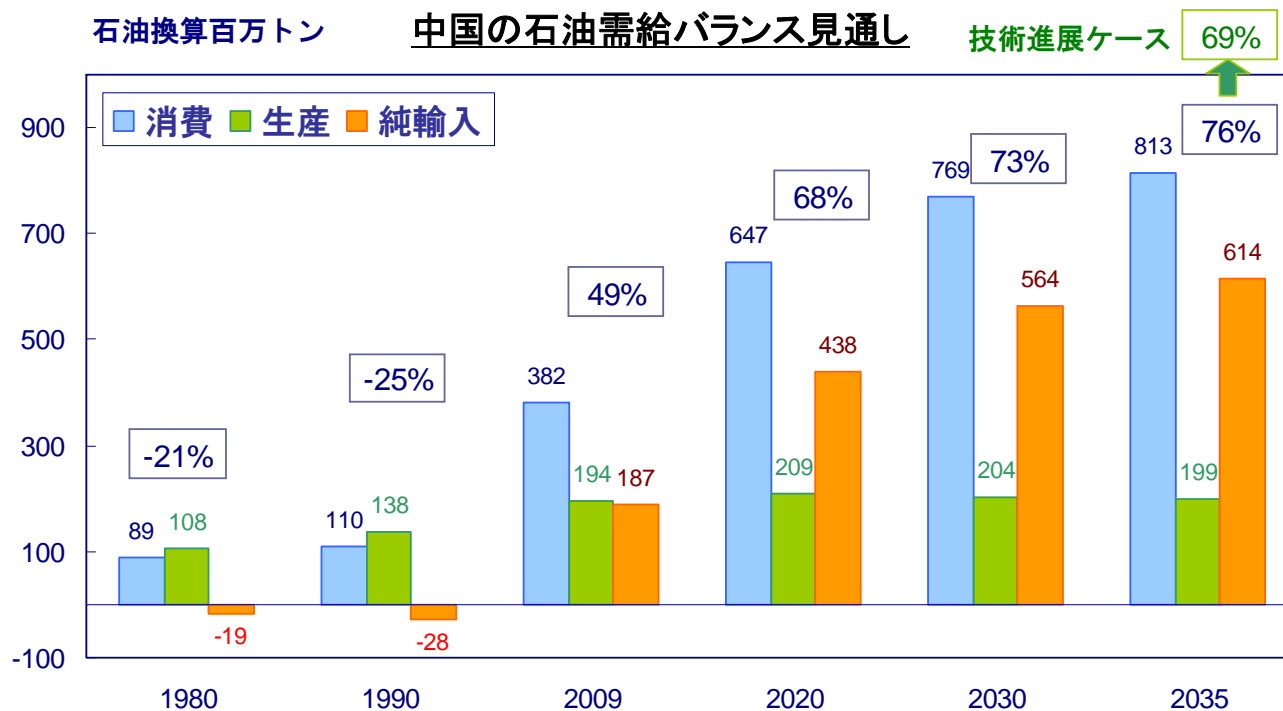
(財)日本エネルギー経済研究所

小山 堅



国際市場における中国の重要性

- 政治・経済・エネルギー面でますます増大する影響力
- 高まるプレゼンスと「Assertiveness」に対する警戒感
- 今後の経済成長と社会安定の先行きの影響
- エネルギー安全保障強化のためのアグレッシブな戦略展開とその影響
- 温暖化政策の展開と国際交渉への取り組みの先行き



(出所) アジア/世界エネルギーアウトルック 2011



中東地域における不安定要因と諸課題

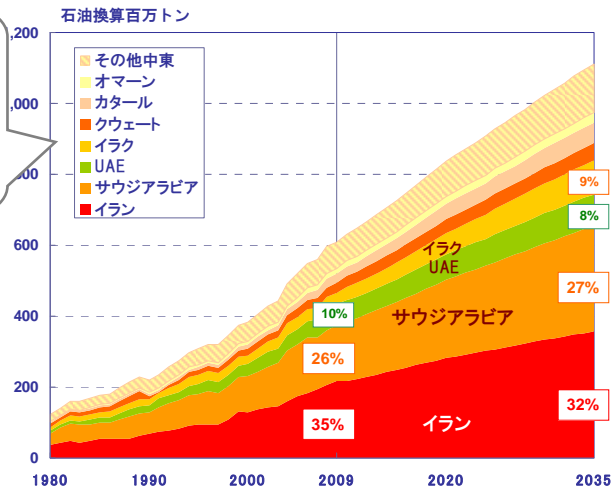
先行き不透明な
中東和平問題

イラク戦争後の
イラク内外情勢

イラン核開発問
題を巡る国際関
係の緊張



増大する国内エ
ネルギー需要へ
の対応



(出所)アジア/世界エネルギーアウトルック 2011

アラブイスラム社
会に広がる米国
への不満・反発

中東の現政権・
体制を巡る不安
定要因

石油施設に対す
るテロ活動の危
険性

(出所)各種資料に基づきエネ研作成



ロシアにとっての「エネルギー戦略」

エネルギーの重要性・戦略性を深く認識

- 高い石油・ガス収入依存度(2010年:輸出収入の64%)
- 世界的に「戦略財」として認識されるエネルギーの有効活用
- 「Sphere of interest」概念とエネルギー供給の関係

■ 大国としての基盤のさらなる強化を重視

- 「失われた10年」からの復権(回復する国力と自信)
- 新たな国際政治・経済環境(Multi-or-Non Polar Systemなど)でのポジション強化

■ かつては計画経済体制、今も強い国家意思がリードする体制

■ 国を代表する世界レベルのエネルギー企業の形成

- 石油: ロスネフチ他
- ガス: ガスプロム
- 原子力: アトムエネルゴプロム

■ National Interest最大化の観点からエネルギー部門の活用

■ エネルギー依存体質の脆弱性も露呈。2009年はGDPマイナス7.8%。経済の多様化・高度化が喫緊課題に(2010年:4.0%)

■ 欧州市場を巡る諸課題と「ルックイースト」、その中での日本



世界のガス需給について

■ 世界的に、ガス需要は中長期的に増大する方向

- 温暖化政策の影響など、不透明要因もあるが、環境対策として実効性の高いオプションとして、また、国産エネルギーとしてガスへの期待は高い。
- 需要増大によって、多くの地域・国で輸入依存度は増大。安定供給確保は重要に。

■ 増大する需要に対応した、十分な供給余力の存在

- 在来型資源の開発に加え、非在来型のポテンシャルは非常に大きい
- タイムリーな投資が行われていけば、十分な供給能力拡大は可能
- 世界の供給構造の中で、非在来型ガス供給の重要性は徐々に拡大へ

■ 将来展望におけるポイント

- 足下の「需給緩和」はどこまで続くのか？
 - 米「シェールガス革命」の影響はアジアを含め世界全体にどこまで波及するか？
 - ガス利用の大幅拡大が、他のエネルギー源に及ぼす影響は？
 - 東日本大震災と原子力発電所事故問題によるガス需要への影響は？
- 今後も変化する国際ガス情勢の動向フォローアップ・分析の継続は重要



日本が直面する課題

- 残る需給構造問題(高い輸入依存度、中東依存度等)
- 国際エネルギー市場の需給構造の変化
 - 中国を中心にしたエネルギー需要の増大
 - エネルギー供給拡大に関する様々な制約・懸念要因の顕在化
- 地政学的な要因の影響が強まる国際エネルギー市場
- 地球環境問題への対応
 - 京都議定書への対応(CO2排出抑制) + ポスト京都
- 経済成長・競争力強化(経済効率追求)の重要性
- 東日本大震災によるエネルギー部門への深刻な影響
- 「3E」+S(Safety)の調和・同時達成にどう対応するか？